

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
KDC 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.5
Q1 室内環境						
1 音環境		-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル		-	-	-	-	-
1.2 遮音		-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能		-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-
1.3 吸音		-	-	-	-	-
2 温熱環境		-	-	-	-	-
2.1 室温制御		-	-	-	-	-
1 室温		-	-	-	-	-
2 外皮性能		-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	-
2.2 湿度制御		-	-	-	-	-
2.3 空調方式		-	-	-	-	-
3 光・視環境		-	-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-	-
1 昼光率		-	-	-	-	-
2 方位別開口		-	-	-	-	-
3 昼光利用設備		-	-	-	-	-
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-
1 昼光制御		-	-	-	-	-
3.3 照度		-	-	-	-	-
3.4 照明制御		-	-	-	-	-
4 空気質環境		-	-	-	-	-
4.1 発生源対策		-	-	-	-	-
1 化学汚染物質		-	-	-	-	-
4.2 換気		-	-	-	-	-
1 換気量		-	-	-	-	-
2 自然換気性能		-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-	-
4.3 運用管理		-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		-	-	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.43	-	-	3.1
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	1.00	-	-	-
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-	-
1 広さ感・景観		-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-
3 内装計画		-	-	-	-	-
1.3 維持管理		-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ガルバリウムダクトを使用している。	4.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水HVP(B)、通気VP(A)、排水VP(B)、Eは不使用。	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	-

3	対応性・更新性		3.6	0.30	-	3.6
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	
	1 階高のゆとり	階高:3.9m以上。	5.0	0.60	-	
	2 空間の形状・自由さ	[壁長さ比率] < 0.1	5.0	0.40	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.57	-	2.1
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.6
LR1	エネルギー		-	0.40	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-
2	自然エネルギー利用		3.0	0.13	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m =0.29	5.0	0.63	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.25	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-
	4.1 モニタリング		-	-	-	-
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	3.2
1	水資源保護		3.0	0.20	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	断熱材	3.0	0.22	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS使用している。	4.0	0.22	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	
	1 消火剤		-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	5.0	0.50	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率73%	4.0	0.33	-	4.0
2	地域環境への配慮		3.2	0.33	-	3.2
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.25	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
	3 交通負荷抑制		1.0	0.25	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮		2.8	0.33	-	2.8
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	
	2 振動		-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	
	2 砂塵の抑制		-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	
	3.3 光害の抑制		2.3	0.20	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	
	2 日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画															
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	2.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0	-	-	3.0	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無															
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0	-	1.0	-	3.0	3.0	1.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAG
居室部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAH
昼光率	0.0%		
自然換気有効開口面積率	3.3%		

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡	
コンセント容量	0.0 VA/㎡						
天井高	0 m						
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%				
想定耐用年数	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
階高	6.5 m						
壁長さ比率	8.0%						
床荷重	- N/m2						
外構緑化指数	27%	建物緑化指数	0%				
空地率	85%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	23%	舗装面積率	61%
BPI/BPI _m	対象外	断熱等性能等級	対象外 相当				
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%		
		通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%		
BPI/BPI _m	非住宅 0.29	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW
				蓄電池	.0kW		
雨水利用率	0.0%						
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-		
使用比率	0.0%						
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	0				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
見付面積比	10%	隣棟間隔指標Rw	17.62				
地表面対策面積率	23.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%		
見付面積S _b	349㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _e	131.37 m	基準高さH _b	25.46 m		
緑地	4,472㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡
				再帰性反射対策面	㎡		